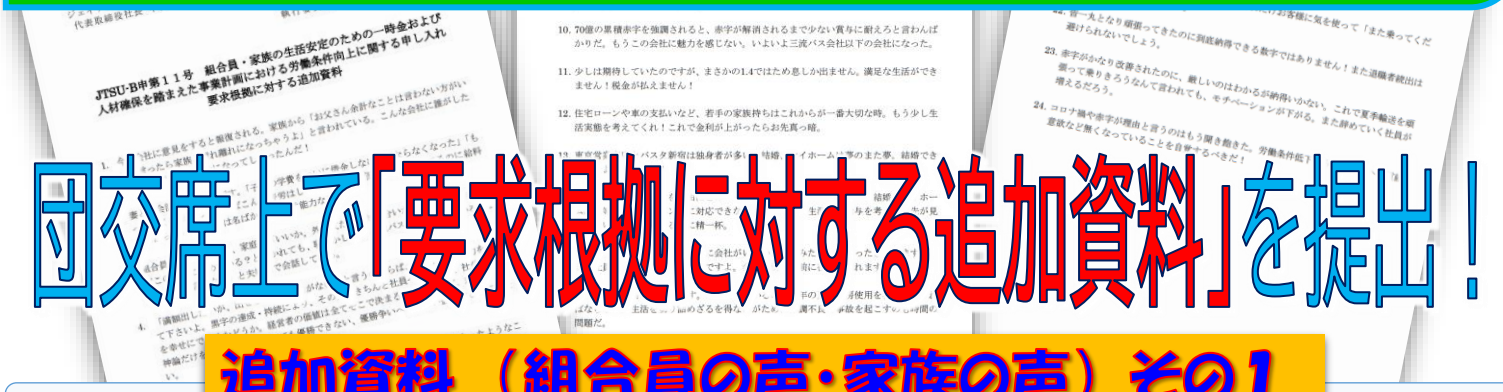
SWALLOW NEWS
ジェイアールバス関東労働組合
JR BUS KANTO WORKERS UNION
2022.6.24
No 133
ホームページ Twitter

JTSU-B 申11号 組合員・家族の生活安定のための一時金および人材確保を踏まえた事業計画における労働条件向上に関する申し入れの第一回交渉をおこなう！



団交席上で「要求根拠に対する追加資料」を提出！

追加資料（組合員の声・家族の声）その1

1. 今の会社に意見をすると報復される。家族から「お父さん余計なことは言わない方がいい。言ったら家族と離れ離れになっちゃうよ」と言われている。こんな会社に誰がしたんだ！何でこんな会社になってしまったんだ！
2. 妻との会話で出た言葉です。「子供の学費をついに借金しなければならなくなった」「もっと早くに転職していればこんな苦労はしなかった」「物価ばかり上がっているのに給料はあがらない」「JRとは名ばかり」「経営能力なし」。
3. 組合員・社員の中には、家庭で「いいか。外で友だちや知り合いから、お宅の旦那さんどこの会社に勤めている？と聞かれても、恥ずかしいからJRバス関東に勤めている、なんて絶対に言うなよ」と夫婦間で会話している。

4.「満額出したいが、出せるだけの体力がない」と言うのならば、早く出せる体力を付けて下さいよ。黒字の達成・持続により、その分をきちんと社員へ還元して、社員と家族を幸せにできるかどうか。経営者の価値は全てそこで決まるということだ。理想論や精神論だけを唱えて、何年経っても優勝できない、優勝争いへ導けない監督など価値はない。

4. 今まで「嫌なら辞めろ」「船から降りろ」などと社員を小馬鹿にして人を食ったようなことを言ってきたのに、最近になり「他の道へ行かないで」「社員は財産」などと一転したことを言っているようだが、赤字幅を20億円も縮小した社員の努力に対して 0.1 ヶ月しか上乗せしないのだから、会社の腹は「嫌なら辞めろ」「ボーナス貰えるだけ有り難いと思え」ということなのだろう。

6.今まで散々「嫌なら辞めろ」などと、社員を小馬鹿にしたようなことを言ってきたくせに、それが今になって「社員は財産」と持ち上げて、どうしたのでしょうか。しかし、言葉では「社員は財産」と持ち上げながら、提示して数字がこれかと思う。

7.コロナ禍の収入減少に耐えてきた報いが全く感じられない。本当に転職も考えなければならない回答だ。

8.正直満額回答は厳しくても 2.0 は出してもらいたかった。約20億円の赤字幅縮小の我々の努力は、0.1ヶ月分(昨夏 1.3→今夏 1.4)にしか相当しないということか。

SWALLOW NEWS「組合員・家族の声」その2へつづく